

コース名		ユニット科目名					対象学年			
医科学入門		医用生物学					1			
開講学期		科目責任者			副責任者			全体資料		
1・3学期		益田 芳樹						無		
一般学習目標(G.I.O)										
1. 細胞や組織の構造を知り、それらのさまざまな機能について理解できる。 2. 細胞の進化と多様性を知り、比較生物学的な見地から動物体のつくりと発生を理解できる。 3. 動物体内の情報伝達に関わる神経系のはたらきについて理解する。 4. 個体の恒常性維持に関わる内分泌系のはたらきを理解する。 5. 動物行動のしくみについて理解する。 6. 生体防御(免疫)の仕組みについて理解する。										
個別的行動目標(S.B.O)										
1. 細胞の構造と、それぞれの構造の働きを説明できる。 2. 細胞分裂について説明できる。 3. 精子形成、卵形成の過程を説明できる。 4. 代表的な動物発生過程を概説できる。 5. 脊椎動物の発生過程を説明できる。 6. 脊椎動物の器官発生を説明できる。 7. 脊椎動物の中樞神経系の発生過程について概説できる。 8. 神経細胞の興奮のメカニズムについて説明できる。 9. 各内分泌器官と、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 10. ホルモンを構造から分類し、それらの作用機序を構造と関連づけて説明できる。 11. 体温を維持する熱源によって動物を分類し、体温維持のしくみを説明できる。 12. 水生脊椎動物と陸生脊椎動物の浸透圧調節の違いを説明できる。 13. 行動が遺伝的支配を受けていることを、例をあげて説明できる。 14. 環境が行動に影響を及ぼすことを、例をあげて説明できる。 15. 体内に侵入した異物を非自己として認識し、排除する仕組みについて説明できる。										
授業計画							コアカリ参照			
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目	コアカリ項目	コアカリ項目
1	4/13	水	3	講義	益田	自然	生命とは、生物とは	P-2-(2)-①-2)		
2	4/14	木	3	講義	益田	自然	細胞とは	P-2-(2)-①-3)	P-2-(2)-①-4)	P-2-(2)-①-8)
3	4/18	月	1	講義	益田	自然	細胞分裂	B-1-(1)-③-1)	B-1-(1)-③-2)	B-1-(1)-③-3)
4	4/25	月	1	講義	益田	自然	組織とは(その1)	P-2-(2)-⑤-4)	P-2-(2)-⑥-1)	
5	5/9	月	1	講義	益田	自然	組織とは(その2)	B-1-(2)-①-3)	B-1-(2)-①-4)	B-1-(2)-①-5)
6	5/16	月	1	講義	益田	自然	器官・器官系とは	B-1-(2)-②-1)	B-1-(4)-G	
7	5/23	月	1	講義	益田	自然	脊椎動物の発生(その1)	P-2-(3)-②-8)		
8	5/26	木	3	中間試験	益田	自然	中間試験			
9	5/30	月	1	講義	泰山	自然	ドジョウの発生	B-1-(4)		
10	6/6	月	4	講義	益田	自然	脊椎動物の発生(その2)	P-2-(3)-②-9)		
11	6/13	月	4	講義	泰山	自然	内部環境の調節:神経系(1)	P-2-(3)-②-3)		
12	6/14	火	3	講義	泰山	自然	内部環境の調節:神経系(2)	P-2-(3)-②-3)	B-1-(3)-①-b-1)	
13	6/20	月	1	講義	泰山	自然	内部環境の調節:内分泌系(1)	P-2-(3)-②-4)		
14	6/21	火	3	講義	泰山	自然	内部環境の調節:内分泌系(2)	P-2-(3)-②-4)		
15	6/27	月	1	講義	泰山	自然	内部環境の調節:体温	P-2-(3)-②-5)		
16	6/28	火	3	講義	泰山	自然	内部環境の調節:浸透圧	P-2-(3)-②-5)		
17	1/16	月	1	講義	泰山	自然	生体の防御	B-2-(2)-①-1)		
18	1/17	火	1	講義	泰山	自然	動物の行動:遺伝的要因および環境要因	P-2-(4)-②-1)		
19	1/23	月	1	講義	泰山	自然	配偶行動と社会的要因	P-2-(4)-②-1)		
20	1/31	火	1	講義	益田	自然	脊椎動物の発生(その3)	P-2-(3)-②-9)		

21	2/2	木	1	講義	益田	自然	器官発生(その1)	P-2-(3)-②-3)	P-2-(3)-②-9)	
22	2/6	月	1	講義	益田	自然	器官発生(その2)	P-2-(3)-②-3)	P-2-(3)-②-9)	
評価方法										
1学期は中間試験と期末試験を筆記形式で行う。3学期は期末試験を筆記形式で行う。										
教科書										
プリント集										
参考書										
M. Cain, H. Damman, R. Lue, C. Yoon著 石川 統 監訳「ケイン生物学」東京化学同人 N. Campbell, J. Reece著 小林 興 監訳「キャンベル生物学」丸善 S. Mader著 坂井 建雄・岡田 隆夫 監訳「ヒューマン・バイオロジー:人体と生命」医学書院 佐々木 史江、堀口 毅、岸 邦和、西川 純雄 著「人の生命科学」医歯薬出版										
準備学習等										
図書館にある参考書、ならびに参考図書を見て各自予習・復習すること。										
担当教員からのメッセージ										
講義についての質問は、教員の時間が許せばいつでも受けるので、連絡すること。										